

150年間の思いを一つに 元街っ子
~つなげよう! まちへ 世界へ 未来へ~

令和6年1月31日



横浜市立元街小学校



令和5年度 学校だより 2月号

Tel 681-7810 Fax 662-5842

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motomachi/>

へいわ こくさいしんぜん 平和・国際親善のシンボル

校長 工藤 雅彦

さくねんど がつ がっこう ねんせい げん ねんせい しょういんげんかん かざ にんぎょう きょうみ
昨年度の2月の学校だよりで、1年生(現2年生)が職員玄関に飾られている「ベッキーさん人形」に興味をもっているこ
とをお伝えしました。創立150周年の記念事業の一つとして、11月に音楽劇団による演劇鑑賞を行いました。低学年は
「赤い靴」、高学年は「青い目の人形」で、いずれも横浜で生まれた二つの絵本を音楽劇化したもので、元街小学校にと
って身近な「山手の教会」や「横浜港」が舞台となり、とくにベッキーさん人形こそがその青い目の人形に繋がるのです。ま
た、青い目の人形の絵本の絵は本校卒業生の柳原良平さんが手がけ、当日は作者の松永 春さんも観劇に来校され
ました。

ゆうじょうにんぎょう つうしゅう あお め にんぎょう ねん たい こ にほん こ おく
友情人形(通称:青い目の人形)は、1927年に12,739体がアメリカの子どもたちから日本の子どもたちに贈られてき
ました。それは、当時の日米関係の緊張を和らげるため、親日家のギュリック博士の提唱で計画・実行され、日本もお
返しに日本人形をアメリカに贈りました。しかし1941年から両国が戦争状態に入ったため、親善のシンボルは敵国のシン
ボルとなり、そのほとんどが焼かれたり廃棄されたりしました。日本全国では250体しか残っていないそうですが、1986年に
建てられた「横浜人形の家」の開館記念式典にそれが展示され、ギュリック博士の孫にあたるギュリック三世夫妻が
訪れました。祖父の偉業に感銘を受けた夫妻は、祖父の遺志を継ぎ、1987年より日本の子どもたちに新・青い目の
人形を送る活動を始め、1991年に元街小学校にベッキーさん人形を贈ってくださいました。(当時、横浜市内には13体
が小学校などに贈られています。)着替えの衣装は奥さまの手作りだそうです。

さてもう一つ、この度これに繋がる出来事がありました。皆さん「シドモア桜」をご存じですか?近くでは谷戸橋付近に
植樹されています。ゆうじょうにんぎょう ねん まえ ねん にほん にちべいゆうこう さくら なえぎ ぜんほん
友情人形より15年も前の1912年、日本から日米友好のシンボルとしてワシントンへ桜の苗木3千本
が贈られ、現在でもポトマック湖畔一帯は世界的な桜の名所になっています。当時、この植樹に尽力したのが日本の桜
のファンであったアメリカ人女性の紀行作家エリザ・R・シドモアさんでした。シドモアさんの功績を讃え現在活動を継承して
いる「横浜シドモア桜の会」の方々のご厚意で、創立150周年記念樹として、青い目の人形もあり、国際色豊かな校風
で、シドモアさんが眠られている山手外国人墓地が学区にある本校に、ポトマック湖畔の桜から接ぎ木によって育てられた
シドモア桜の苗木の植樹が実現されました。植樹式には6年生の代表児童が鍬入れをしてくれました。

さっこんせかい こ ぎせい せんそう お れんじつにほん えいどうなど ほうどう おも
昨今世界では子どもたちも犠牲になる戦争が起こり、連日日本でも映像等で報道され、いたたまれない思いでいます。
たぶん かきょうせい きょういく はら ひと ほんこう あお め にんぎょう さくら にちべいしんぜん
多文化共生を教育の柱の一つとする本校において、「青い目の人形」と「シドモア桜」が日米親善のシンボルにとどまら
ず、子どもたちには平和の尊さや国際親善の意義を感じ取り学んでほしいと思っています。元街っ子が平和な世界を目
指し築く、次世代の担い手になってほしいと願っています。そして、元街小学校に贈られた二つの平和を願うシンボルをこ
れからも見守って大事にしていってください。